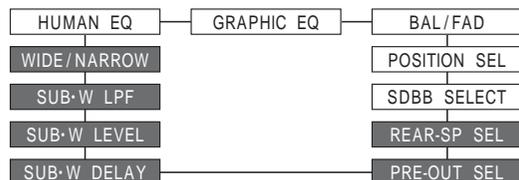


1 項目を選び、

- ① **AUDIO** を押して、
- ② \downarrow \uparrow で選択し、**SEL** で決定する。



2 設定する

\downarrow \uparrow で選択・調整する。

周波数や項目は、**SEL** を押して切り替える。

設定を続けるときは...

再度 **AUDIO** を押してください。

お知らせ

各項目が表示されている間(約10秒間)に操作をしないと... 通常モードに戻ります。

途中でやめる(通常モードに戻す)には...

DISP を押す

記憶されている設定・調整を、全て初期化するには... 43ページをご覧ください。

リアスピーカー、プリアウトの出力を設定する

システムに合わせて出力を選んでください。

初期設定：

REAR-SP (リアスピーカー)...REAR
PRE-OUT (フロント)...FRONT

設定を「SUB-W」にした場合は、出力を調整してください。

リアスピーカー設定

REAR-SP SEL
を選び

REAR : 通常のリアスピーカーとして使用する [ステレオ]

SUB-W : サブウーファー用として使用する (低音域の音を出力する) [モノラル]

例)

REAR SUB-W

選択されている方へ向きが変わる

プリアウト設定

PRE-OUT SEL
を選び

FRONT : フロントプリアウト用として使用する [ステレオ]
システムアップ用のスピーカーを接続した場合

SUB-W : サブウーファー用として使用する (低音域の音を出力する) [モノラル]
サブウーファースピーカーを接続した場合

例)

FRONT SUB-W

選択されている方へ向きが変わる

サブウーファーの出力を調整する (サブウーファー調整)

リアスピーカー、またはプリアウトの出力が「SUB-W」に設定されている場合のみ、有効になります。

初期設定：

DELAY (ディレイ時間)...0 ms
LEVEL (音量レベル)...0 dB
LPF (カットオフ周波数)...FLAT

外部アンプ (別売) に内蔵されている LPF調整機能を使用する場合は...

本機のDELAY調整を「0 ms」、LPF調整を「FLAT」にしてください。

ディレイ時間

SUB-W DELAY
を選び

出力のタイミングを調整する (0ms : 同じタイミング)
調整範囲 : -10ms ~ +10ms / 1msごと 1ms = 0.001秒

「+」 : 他のスピーカーよりも、出力が遅くなる
「-」 : 他のスピーカーよりも、出力が早くなる

例)

DELAY ± 0ms

音量レベル

SUB-W LEVEL
を選び

調整範囲 : -、-10dB ~ +10dB / 2dBごと

- : 接続したアンプやリアスピーカーから音が出なくなる
「+」 : 音量レベルが上がる
「-」 : 音量レベルが下がる

例)

LEVEL ± 0dB

カットオフ周波数

SUB-W LPF
を選び

高音域をカットして、低音の厚みを調整する

出力する低域周波数の上限を選ぶ

FLAT 100 (Hz) 150 (Hz) 200 (Hz)
(カットしない)

例)

LPF FLAT

音場の広がりを調整する (ワイド/ナロー)

初期設定 : 0

調整範囲 : 各3ステップ (-3 ~ +3)

WIDE/NARROW

を選び

「+」(WIDE) : 音場が広い空間の雰囲気になる

「-」(NARROW) : 音場が狭い空間の雰囲気になる

音場を設定してください。(スペース 26ページ)

お知らせ

各モード (AM, FM, CD, MD, CH, AUX, D・M) ごとに、調整できます。

例)

W/N ± 0